



岐阜北週報

11月 ロータリー財団月間

<input type="checkbox"/> 題字	永瀬 章	<input type="checkbox"/> 会長	永瀬 章	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	前田 吉彦	2017-2018
<input type="checkbox"/> 会場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹事	西垣 康紀	No.1697
		会報委員長	安藤 重広	17.11.8発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1696 回 例会 11/1 (水) 慶祝行事 クラブフォーラム (5) 担当：R財団委員会	第 1697 回 例会 11/8 (水) 卓話 (2) 100万\$ 担当：山口・安藤 (重) 会員	第 1698 回 例会 11/15 (水) 卓話 (3) コミュニケーションをテクノロジーで支える 講師：渡辺 暁典 様 担当：森本・井戸 会員

会長挨拶



早いものです、会長就任以来、4か月が経過いたしました。もう今日は、例会終了後に指名委員会を開催して、次々年度の道筋を付けねばならない時期となってまいりました。

11月は、ご存知のように、ロータリー財団月間です。今日は後半の部のクラブフォーラムにて、ロータリー財団委員会の担当でフォーラムがあります。詳細はその時に。

財団のことは難しくなかなか理解しづらいのですが、今年度が始まったすぐに受けたロータリー財団研修セミナーのテキストを紐解きます。

ロータリークラブにおいては、色々な奉仕活動に取り組んでいるところですが、是非クラブとして地域や地域の方々のためになること、また、一歩踏み出して世界に目を向けて、人道的な活動をしてほしい。

その際には、ロータリー財団の補助金を活用していただき、より充実した事業の、企画、立

会長挨拶 続き

案、そして、実施をしてほしい。

ただ、2017-2018年に申請する補助金は、2018-2019年度の実施の事業です。現状、このシステムで動いているからご理解をとのことでした。

奉仕は一つの愛情表現です。地域を愛し、人を愛し、人類を愛する表現です。是非、ロータリー人としての寛容で愛情あふれるお気持ちを奉仕という形で実現していただきたい。

ロータリーは「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」という実践的な原則があります。多くのクラブが地域活動のために地区補助金申請することから、国際親善奨学生が、補助金の限度額から、排出できない、など資金の整合性に問題が起きています。

そんな中、RI会長イアン・ラズリー氏は「ロータリー：変化をもたらす」をテーマに「未来を創造しよう」とされました。地区目標は変化するロータリーを考える。R財団年次寄付の増進、会員増強です。地区内クラブがR財団資金を活用してより活発な意義ある奉仕活動の展開を示唆しています。

財団では寄付には3種類あり年次基金寄付、使途指定資金（ポリオ）、恒久基金寄付（ベネファクター）などがあります。

最後に、地区からのお願いとして、年次寄付額と、ポリオプラス寄付額の目標を設定し、クラブ内でのフォローも宜しくとのメッセージが来ております。

出席報告

会員数：31名
 出席数：29/31名
 出席率：93.55%
 欠席者：2名（出席免除 2名 100.00%）

慶祝行事（敬称略）

1. 会員誕生日のお祝い
 - 11月11日 小島 正三 会員
2. ご夫人誕生日のお祝い
 - 11月5日 前田 澄子 様
 - 11月30日 小椋 かつ代 様
3. 結婚記念日のお祝い
 - 11月12日 小島 正三 会員
 - 11月23日 安藤 武司 会員
 - 11月25日 竹村 博之 会員

ニコニコBOX（敬称略）

山口 八郎：R財団の卓話お願いします。
 竹村 博之：結婚記念日を祝って頂いてありがとうございます。
 河村 訓陸：本日クラブフォーラムでR財団委員会になっています。久しぶりです。よろしく。
 長野 鉄司、
 小島 正三、
 井戸 憲一郎：今日も元気で。
 原尾 勝：良いことがありました。ありがとうございます。
 臼井 毅子：台風がきたり、暑くなったり寒くなったりですが、皆様お体ご自愛くださいませ。
 前田 裕弘：11月お祝いおめでとうございます。

幹事報告事項（敬称略）

- 新規入会予定者2人に関して異議のある会員は、11月8日までに書面にて幹事宛に提出をしてください。
- 今月のガバナー月信の配布は来週になります。

例会行事

本日の例会は、河村会員による卓話でした。河村会員から配布されたライズリーRI会長からのメッセージにしたがって進行しました。

何年か前のことですが、私の娘が働いていたオーストラリア、メルボルンの博物館では「鉄

例会行事 続き

の肺」が展示されていました。私と同年代で1950年代のポリオ大流行を覚えていらっしゃる方ならばたいご存知だと思いますが、鉄の肺は、予防接種のおかげでどれほどポリオ対策が進歩したかを如実に物語っています。かつては貴重な医療機器だったのが、今では博物館の展示物なのですから。

世界各国の大半において、ポリオの物語はとてもシンプルなものです。長年ポリオの脅威に脅かされ続けた後、ワクチンが開発され、この病気は克服されました。しかし、世界の一部においては事情が違いました。多くの国でワクチンが入手できず、大規模な予防接種は費用がかかりすぎるか、単純に子どもたちを見つけれない。

よそではポリオが博物館にしまわれた一方で、こういった国々ではポリオは猛威を振るい続けていました。しかし、そこでロータリーが、「どこに暮らしていても、どのような環境に置かれていても、すべての子どもたちにポリオのない人生を送る権利がある」と声をあげたのです。

ポリオプラスが発足してから、ロータリー、各国政府、世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）の尽力により、ポリオの発症件数は年間35万件だったのが、2017年には数件にまで低減しました。しかし発症件数ゼロを達成し、維持しなくては、ポリオ撲滅は実現できません。そのためには、皆さま一人ひとりの支援が必要です。

10月24日は世界ポリオデーです。これまで成し遂げたことを祝い、ポリオ撲滅を完遂するために人びとの意識を高め募金を行う機会です。何らかの形で世界ポリオデーに参加することを、私はすべてのロータリークラブに呼びかけます。endpolio.orgでアイデアを探して、イベントを登録しましょう。サイレントオークション、VRビューイング、チャリティウォーク、「Purple Pinkie Day」（「小指をパープルに染めよう」デー）など、どのような活動でも大きな違いを生み出すことができます。

今年の世界ポリオデーでは、シアトルにあるビル&メリンダ・ゲイツ財団本部でライブストリーミングが行われ、午後2時30分（太平洋標準時）からendpolio.orgで中継されます。皆さまの多くがご存知のように、ロータリーは今後3年間で年5000万ドルの寄付を約束しました。この2倍の額をゲイツ財団が上乘せし、ロータリーが世界ポリオデーなど年間の募金活動で調達する総額を事実上3倍にしてくれます。ポリオ撲滅にご協力ください。そして、世界ポリオデーではみんなに変化をもたらしましょう。

例会風景



次回例会のご案内

第1698回 例会 11月15日(水)

卓話(3)

コミュニケーションをテクノロジーで支える

講師：渡辺 暁典 様

担当者：森本・井戸 会員

会報・広報 11月担当 川崎 賢二